

福祉啓発運動 キャラバン隊富士へ

国際障害者年の啓発運動を展開するキャラバン隊が、5月22日富士市に到着。

午後1時から、さっそく市役所2階市民ギャラリーで歓迎式が行われ、キャラバン隊代表から渡辺市長に、総理大臣からのメッセージが手渡されました。

歓迎式には、福祉関係者150人余が出席し、渡辺市長が「これからも障害者が住みよく、市民といっしょになって生きていける街づくりを目指していきます」と挨拶しました。



(総理大臣からのメッセージを読みあげるキャラバン隊代表)



(委嘱状を手渡される協議委員)

明るく正しい選挙の推進

富士市明るい選挙推進協議会の第1回定例委員会が、5月11日市消防庁舎3階会議室で開かれ、委員30人が出席しました。

この日、30人の委員に選挙管理委員会山田委員長から委嘱状が一人ひとりに手渡されました。

会長に市内大淵の小山光孝さんを選出し、56年度事業計画や予算について話しあいました。

あの街



わが街

—— 富士市に來られたのは？

春美 東伊豆町熱川から主人の実家今泉へ来て、1年になります。富士の公害がこんなにひどいとは思いませんでした。

晃一 これでも大変良くなったんだよ。特に、川はきれいになった。しかし、騒音や悪臭、それに大気汚染はもっと良くなってほしいね。

春美 そういえば、ここへ来てから子供が風邪を引きやすくなったし、引いても治りにくくなったワ。

晃一 先頃環境六法をさがしたんだが、市内の書店には見当らないんだ。公害に対して、市民の関心や世論がもっとあってもいいのではないかなあ。

—— そのほか富士市の印象を。

春美 窓口での市職員の応待が良いなと感じました。行政面では、消費者保護が進んでいますね。それと、子供を通して福祉が行きとどいていくことに感謝しています。

晃一 田舎から来ると、それは思うね。でも、20万都市にしては文化水準が低いなあと感じます。それに交通機関が不便で、夜間は特に困りますよ。

春美 そうそう公園の数が目立つ



牧野晃一・春美夫妻(鍛冶町3丁目)

こと、しかもよく整備されてるわ。

—— これから期待することは？

春美 子供を育てていると、教育が気になります。どんな子でも1人ひとりが大切にされる学校やまちになってほしいですね。

晃一 ウン、同感だね。